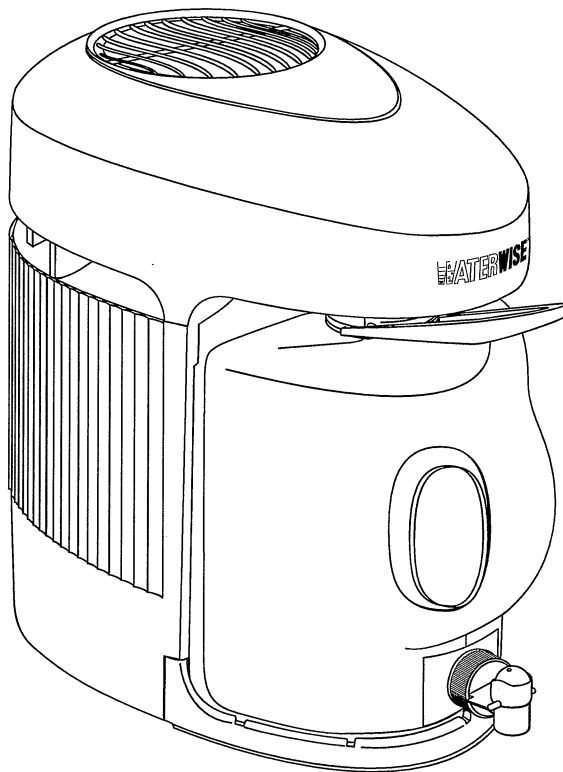


## USE & CARE GUIDE

# Waterwise 1900™

## Countertop Steam Distiller/Purifier



### 2ページと3ページの安全の為に重要な使い方



このマーク（正三角形の中の感嘆符）は、ユーザーへの重要な使いかたやメンテナンスについての注意事項を表しています。



このマーク（正三角形の中の稲妻）は、ユーザーが感電し傷害を伴う危険性がある使い方の注意事項です。



このマーク（正三角形の中の炎と蒸気）は、ユーザーが熱湯や蒸気で傷害を伴う可能性のある危険な使い方に対する注意事項です。

## 安全に使う為の重要事項

安全に使う為の説明書を読み理解していない人はこの製品を操作使用する為の資格がありません。以下を含む、家庭内の使用に限る安全に使用する為の基本的な使用方法を固く守って下さい。

使用前にすべての説明書をお読みください。

本社の製品は家庭内の使用に限ります。

1. 安定した平で乾いている屋内で使用します。移動車両では作動しません。




2. 製品が停止して30分以内は製品の位置を変えたり動かさないで下さい。ボイラーの、水は100℃に加熱されていますので火傷をする恐れがあります。
3. 製品が作動している間は青いボトルを外さないで下さい。ポットの蓋は蒸留サイクルが終わって30分以上たって冷却するまで開けないで下さい。熱湯や蒸気で火傷をするおそれがあります。
4. 親の監視のない小さな子供のいる所では本品を使用しないで下さい。倒してこぼれると火傷をする危険性があります。必ず大人の監視がある場所で使用して下さい。
5. 本製品をカウンターの端や安定しない場所に置かないで下さい。倒れて火傷するおそれがあります。また電源コードか延長コードをカウンターの端や引っかかりやすい所に置かないでください引っ掛けて倒し火傷するおそれがあります。



6. 短い電源コードはもつれによる危険性を減らします。延長コードを使用しなければならないのであれば電源の仕様については、本製品の下の部分の裏に書かれています。
7. 火災や感電および負傷から守るために、本製品の電源コードや本製品本体を水や液体に浸さないで下さい。
8. もし製品が壊れていたりコードやプラグが損傷していたら使用しないで下さい。ディーラーかサポートを通しての修理を依頼し、正常で作動する事を確認出来た後に使用して下さい。



9. 本社の製品は飲料可能な水源からの使用を推奨いたします。海水などで使用するとコンポーネントや部品などを損傷する危険性があります。非飲料用の資源から飲料水を作る事はしないで下さい。それが原因で本製品を破損しても本製品の保証はいたしません。
10. 他の発熱する製品から放して通気の良い場所で本製品を使用して下さい。熱いガスや電気バーナーの近く、またはオープンが加熱されているすぐ隣での使用はさけて下さい。本製品の上に物を置いたり隙間のない箱の中での使用はできません。

11. ポットに水を入れないと作動しません。水を入れなくて作動した場合壊れる可能性があります。
12. 本製品はメンテナンス（9ページ）と周期的な活性炭の交換意外は必要としません。整備点検が必要な場合は販売店かディーラーに連絡して下さい。ご自分での修理はお控えください。サービスの詳細に関する保証を読まれる事をお勧めいたします。
13. 本製品を使用中でない時やクリーニングの前はコンセントからプラグを抜いて下さい。メンテナンスは少なくとも使用後30分経っているのを確認してから行なってください。
14. 青いディスペンサーボトルが適切な位置に置かれているのを確認してからスイッチを入れて下さい。本製品が作動している間はディスペンサーボトルを取り外さないで下さい。ボトルの蓋を外し活性炭をセットしてから作動して下さい。
15.  水をポットに入れすぎないようにして下さい。入れる目安として白い爪があたる所を上限とします。
16. 指定の使用目的以外の使用はしないで下さい。



### 電気コードに関する注意点

警告：コードにつまづいたり、もつれる事故を防ぐために本製品のコードは短めに作ってあります。

本製品のそばで子供達を大人の監視なしで放置しないで下さい。

本製品に延長コードを使用しなければならないときは子供がコードにつまづいたりしないよう中止して下さい。

本製品を使用する為の延長コードの電気仕様ワット数は感電や事故、火傷、火災を防ぐ為本製品の下の部分に表示されているものをご使用ください。

プラグは指定電圧かそれ以下のアウトレットをご使用ください。

仕様アウトレットは製品の下の部分に表示してあります。

プラグには3本の差し込む爪が標準で付いています。

差し込む爪を切ったり取り外したりしないで下さい。コードを使用していない時はプラグをコンセントから外して下さい。

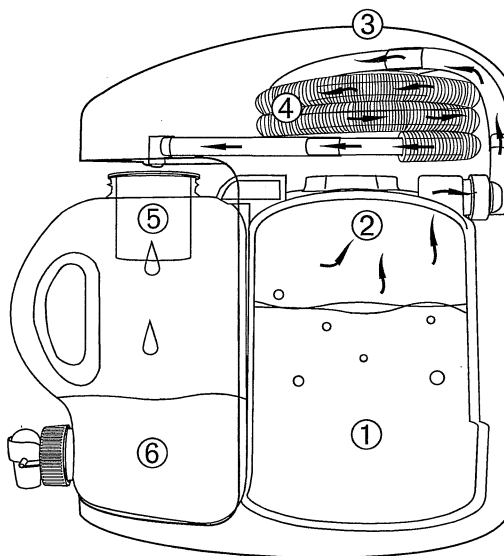


警告：ファンが動いている間、または止まってから30分以内はポットを決して取り外したり本製品の位置を変えたりしないで下さい。熱湯や蒸気で火傷をする危険性があります。

**これらの注意事項を保存して下さい。**

## 蒸留プロセス

図 A



本製品は浄水の自然で最も効果的なメソッド（蒸気蒸留）を使用することによって純粋な水を作り出します。

本製品が作動している時、水温は100°Cに上ります。バクテリア、嚢胞、ウイルスが混入して入れればそれを殺します。熱湯が（2）に変わる時、溶解固形物、塩、重金属などの不純物を後に残し蒸気として上ります。

蒸気は（3）を通過して放出され（4）で冷やされ純粋な水となります。蒸留水は活性炭を5）通過し（VOCs(揮発性有機化合物)が混入していたとしても除去されディスペンサーボトル（6）に溜まります。

Lexan(R) はGeneral Electric Companyのトレードマークです。

このシステムは、TDS(総Dissolved Solids)の減少のためにWater Quality AssociationであるWQA S-400によって検査され公認されました。

4.5時間あたり約4リットルの生産水生産率で約4リットル製品水を貯蔵する事ができます。

WISE-JAPAN 1900

Production Rate : 4ℓ Per Day

|                | Model | Volts   | Hertz | Watts |
|----------------|-------|---------|-------|-------|
| North America  | 9012  | 120 VAC | 60 Hz | 750W  |
| Europe         | 9024  | 230 VAC | 50 Hz | 730W  |
| United Kingdom | 9025  | 230 VAC | 50 Hz | 730W  |
| Southeast Asia | 9026  | 230 VAC | 50 Hz | 750W  |

## はじめて使うときの準備

- ・ 図Bをみて図のように蓋がちゃんと閉まるか確認します。
- ・ ボトル4分の3を水道水で満たして下さい。
- ・ 食器洗いの洗剤を2滴ほどたらして下さい。
- ・ 洗う時は活性炭を外して下さい。
- ・ 何度か強く振ってから流して下さい。
- ・ 何度かすすいで下さい。

## コレクター/ディスペンサーボトルを殺菌して下さい。

- ・ 3パーセントの漂白剤を（180ml）を瓶にいれる。
- ・ 蓋を閉める。
- ・ 強く振って20分ほど置いておく。
- ・ 何度かすすぐ

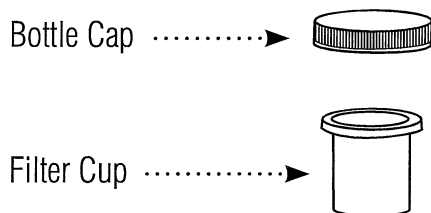
## 活性炭を消毒してすすぐ

### 活性炭の粉末のチリを取りのぞく為の推薦事項

まず最初に蒸留水を作して下さい。蒸留水が出来たらその後、蒸留水の熱湯 約5分間浸し活性炭を殺菌してください。その後、「活性炭に約2カップの蒸留水を注いで）無害な炭素微粒子の小さな粉をすすいでください。フィルターカップを通る水は黒く細かい炭素粉末を含むかもしれませんが無害です。

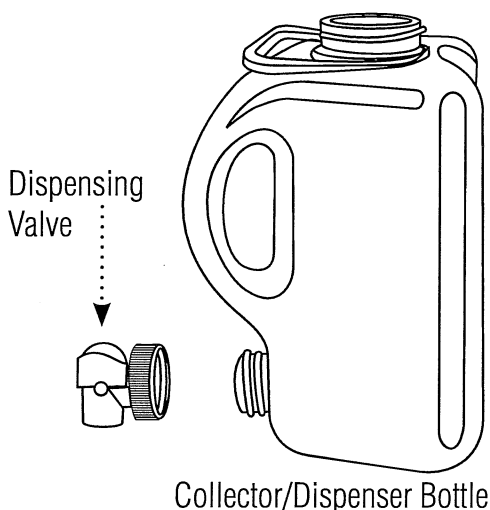
活性炭の粉末は活性炭を生産する過程や出荷の過程で生産される事があります。

図 B



### 活性炭をセットする

活性炭をボトルにセットします。  
活性炭を交換した日付けをメモしておく  
と次に交換する時期が分かり易く  
便利です。



### 活性炭の交換

230～320リットルの水が処理されたら炭素をを取り替える時期です。取り替えた日付をメモしておく  
と便利です。  
活性炭を変えてから最初に作った蒸留水は捨てて下さい。もし炭素粒子が、混入しても無害なので心配はありません。

## ポットのクリーニング

- ・ (図 C) の様な順番で本体に設置されているボトル、ポットの順に取り外して下さい。
- ・ ポットの先に付いている部品はメンテナンスの時以外は分解する必要はありません。
- ・ (図 D) 反時計回りに蓋を回しポットの蓋を開けてください。
- ・ (図 D) Steam Baffle securing Nutを固定するSteam Baffle を反時計回りに回して緩めそしてSteam Baffle を取り外して下さい。
- ・ ポットの中を洗剤でよく洗ってすすぎます。水はポットの口の部分を通して排出して下さい。



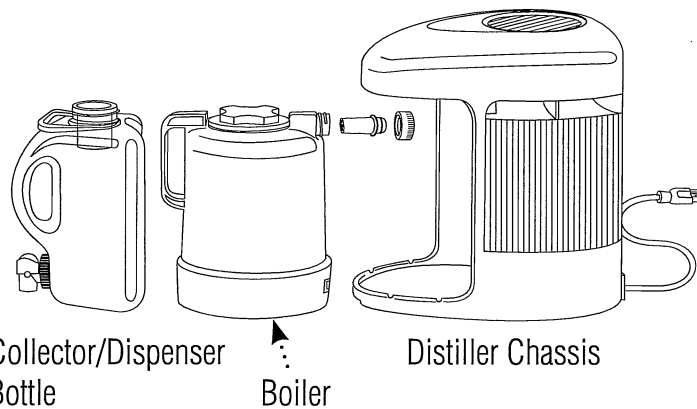
**重要：** 本体やポットに付いている水滴は始動する前に拭き取って下さい。

## 蒸留水器を使う



**警告：** ファンが動いている間、または止まってから30分以内はボイラー（ポット）を取り外したり位置を替えたり動かしたりしないでください。熱湯や蒸気から火傷をする危険性があります。

図 C



説明上の効果を得る為にメンテナンスや活性炭の交換を定期的に行って下さい。

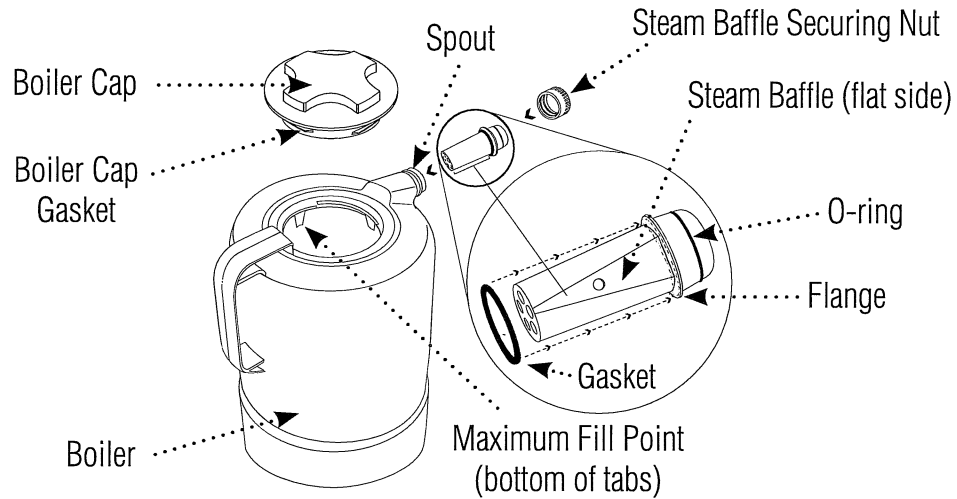
1. 平で安定して濡れていない場所に蒸留水器を置いてください。
2. コレクターボトルを取り外します。
3. ハンドルを握ってボイラー（ポット）を本体から取り外します。
4. (図 D) 蓋を時計反対回りに回してポットの蓋を取り除きます。
5. 反時計回りにsteam Baffle securing Nutを緩めてください。そしてSteam Baffle (図 D) を取り外します。
6. 半分水を満した状態でポットをよくすすぎます。すすいだ水はポットの口の部分から排出してください。
7. (図 D) 普通の水道水で約4ℓをポットに入れます。白い爪の部分まで水を入れます。**それ以上入れない様に注意して下さい。**
8. ポットの蓋を時計回りに回して固く閉めます。
9. (図 D) GasketにSteam BaffleがセットされFlangeがきちっとはまっているのを確認します。平らな部分は下になります。Nutを時計回りに回してセットしてしっかり閉めます。後はポットの口にセットして固く閉めて下さい。



**重要：** 本体やポットに付いている水はよく拭き取って下さい。



図 D

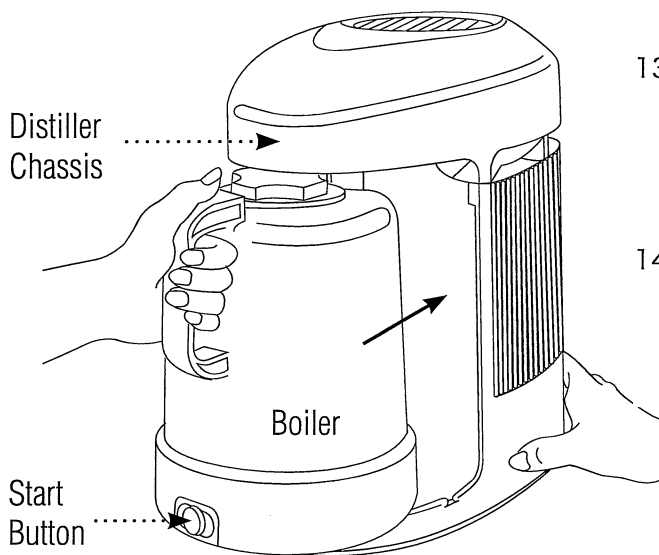


10. 本体にポットを押し込んで下さいそしてポットが (図 E) の様に適切に置かれているのをしっかり確認します。始動する前にポットがきちっと差し込まれているかポットの蓋がきちっと閉まっているか確認してください。
11. (図 E) コードをコンセントにきちっと差し込んで下さい。
12. スタートを押して下さい。赤いランプが付きます。もし電力が中断された時は赤いはランプは消えます。その時は電力をチェックし正常を確認できたらもう一度スタートボタンを押して再開します。 **注意**：冷却用ファンは直ぐには始動せずポットの温度が既定温度に達してから (30~40分) 始動します。

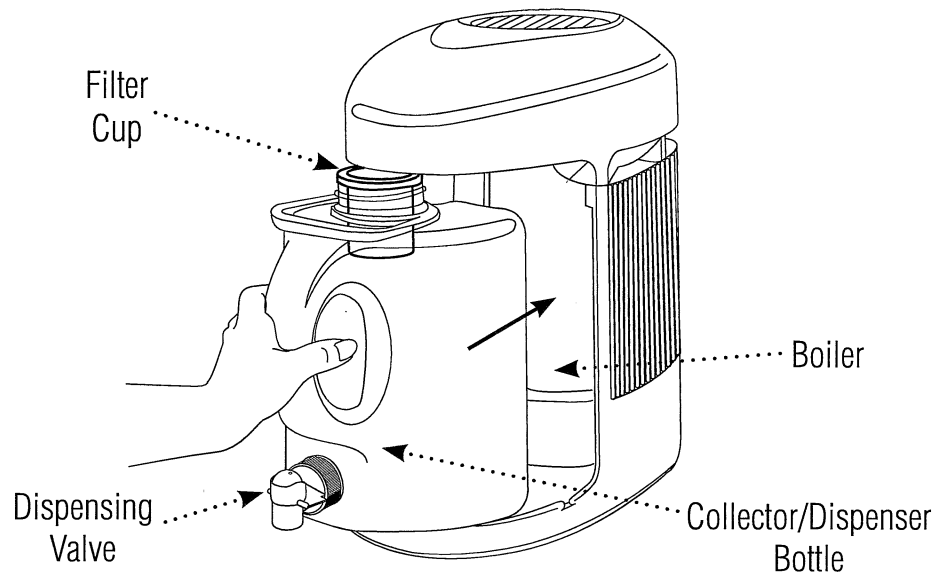


**警告**：スタートボタンが点灯している間、またはポットが熱いあいだは怪我や事故を起こさない為に本体を動かしたりポットを外したりしないで下さい。使用していない時はいつもコンセントを外して下さい。本体を動かしたり、ポットを外すときは必ず停止してから30分以上経っている事を確認してください。

図 E



13. (図 F) 活性炭をボトルの上にセットしてください。間違えて蓋はしないで下さい。水が溢れます。
14. (図 F) ボトルを規定の位置にセットし蛇口を固く閉めます。



**重要：**ボトルのキャップを外しフィルターをセットして適切な位置にボトルを置いて下さい本製品が作動している間ボトルを取り外さないで下さい。

**ノート：**4～5時間で蒸留が終わります。自動的に静止してポット始動スイッチの赤いライトが消えます。ファンはすぐには止まらず2～3分で止まるでしょう。

15. 使用していないときはコードをコンセントから外して下さい。

16. 最初の蒸留水は捨てて下さい。工場でのチリやほこりが入っている可能性があります。

17. 水を入れる前に何度かすすいで下さい。



**重要：**ポットや本体についている水滴を拭き取って下さい。ボトルは蒸留水が炭素フィルターに接触しないよう設計されています。

**ノート：**蒸留サイクルが終わると水滴は冷やされてボトルに溜まります。フィルターは外しても外さなくてもかまいません。ボトルの蓋を締めても水が出るよう設計されています。

**注意：**冷蔵庫にボトルを保存するとヒビが入ったり壊れたりするおそれがあります。

**ノート：**約150mlの水は蒸留サイクルの終わりにポットに残ります。これはポットに不純物がこびり付くのをおさえます。



**警告：**怪我や事故を防ぐ為にポットやコードまたはプラグを水か他の液体に浸さないでください。



## メンテナンス



警告：本製品のメンテナンスをする前に必ずコンセントからプラグを抜いて下さい。

### ポットのクリーニング

毎回、使用するたびにぬるま湯でポットの残留物をすすいで下さい。

(図 D) NutをゆるめてSteam Baffle を外して下さい。お湯でポットを半分満たし、よく振ってから水を捨てます。

水はポットの口を通して排出して下さい。過剰沈殿物は不調を引き起こす場合があります。スケール残留物は専用のクリーナーかコーヒメーカーに使うクリーナーなどを使用して取り除いてください。

お酢をかわりに使っても良いでしょう。市販の洗剤等は使わないでください。こする場合は軟質のプラスチックやナイロンを使用してください。

スチールウールやまたは金属性の道具は使わないで下さい。柔らかい布地かスポンジで温めの石鹼水でポットやボトルの外部を拭いて下さい。



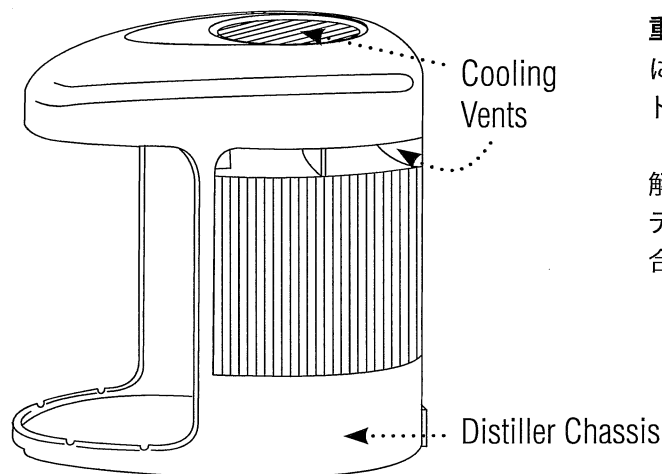
ボトルのメンテナンスは5ページを参照してください。

炭素フィルターの交換 5ページを参照してください。

### 本体の外部のメンテナンス

(図 G)一般的な過程のガラスクリーナーまたは石鹼水を使ってください。柔らかな布かスポンジで外の表面を拭き取ります。本体の通気口 (Cooling Vents)のほこりは掃除機をかける時に柔らかいブラシ付きのもので吸い取ると綺麗になります。

図 G



**重要：**修理は専門のサポートにお任せください。トラブルシューティングは(10ページ)にあります。解決出来ないときはサーポーター、ディーラー、販売店などにお問い合わせください。」

# トラブルシューティング

故障

考えられる原因

解決法

スタートしても始動しない。

プラグがコンセントに入っていない。

コンセントプラグにきちっと差し込む。

スタートランプは点灯したけれどファンが始動しない。

スタートボタンはファンとは連結していません。

ファンが始動するまで20～30分かかります。

本製品が始動しない。

プラグがコンセントからはずれている。ブレーカーが落ちている。コンセントが壊れている。

コンセントを差し込みスタートボタンを押す。ヒューズを確認する。電気会社に電話する。

蒸留水の味がおかしい。

活性炭が汚れている。ポットを掃除する必要がある。コンセントが壊れている。

活性炭を取りぬく。

本製品の上から蒸気が出ている。

Steam Baffle がなくなっているか、ちゃんとセットされていない。

Steam BaffleとSteam Baffle Securing Nutがきちっとはまっているか確かめる。Gasketを入れ直す。

水が漏れている。

ボトルの蛇口が緩んでる。ボトルの蓋を外し忘れている。ボトルの位置がずれている。

ボトルの蓋を外す。蛇口を閉め直す。ボトルのいを正す。

ポットに電気が流れていない。

ポットが本体にきちっと差し込まれていない。

ポットをきちっと奥まで押し込む。

電源が早く切れてしまった。

電源が落ちている。ヒューズが飛んだ。過剰の残留物が溜まっている。

電源を確かめてスタートやボタンを押す。

ポットの下に水が溜まっている。

Steam Baffleがきちっとはまっていない。O-ringが壊れているか、きちんとはまっていない。

Steam Baffle Securing Nutがきちんとはまっているか確かめる。O-ringが壊れているかきちんとはまっていない。